

2021年10月 事業承継支援コンサルティング研究会 問題

事例

あなたは事業承継支援の専門家です。信用金庫の営業担当者から紹介され、中小企業の経営者（佐藤社長：75歳）との初回面談を行うこととなりました。

佐藤工業（株）、自動車部品の製造業、本社神奈川県、創業 1950 年
売上高 10 億円、従業員 50 人
株主は佐藤社長 1 人（発行済株式 100%）

佐藤社長は、後継者となる子供がいないため、従業員である村上部長へ承継したいと考えています。

事業承継支援の専門家であるあなたは、社長との面談においてヒアリングを行いましたところ、以下のような論点が出てきました。あなたはどのような指導を行いますか？

なお、会社の事業性（技術力、顧客ニーズ）に大きな問題はなく、経営管理体制は良好です。

- 【問1】 後継者にしたい従業員の村上部長には、会社の株式 100%を買取る資金がありません。どうすればよいでしょうか？
- 【問2】 株式買取り資金の問題は、会社が本社ビルを所有しているため株式評価額が高くなったことが原因です。どうすればよいでしょうか？
- 【問3】 佐藤社長の長女には子供（19歳、孫）がいるため、佐藤社長は、将来的に孫に会社を承継したいと考えています。それゆえ、今回、従業員である村上部長を中継ぎと位置づけ、孫が入社して経営者に成長するまで、株式を村上部長ではなく長女へ保有させたい（贈与・相続）と思っています。問題ないでしょうか。